



予防接種で防ぎましょう 麻疹(はしか)



麻疹(はしか)は麻疹ウイルスにより引き起こされる感染症で、39度前後の高熱と、耳の後ろから始まり体の下方に広がる赤い発疹が特徴です。中耳炎や肺炎、脳炎など合併症も多く、死亡率は先進国においても0.1～0.2%になります。感染力がとても強く、感染者と20分間同じ部屋にいただけでも感染し、他の人につつす力も季節性インフルエンザの約6倍といわれています。治療も特效薬はなく、手洗いやマスクなどの感染対策も十分といえません。唯一有効な予防方法は、予防接種で麻疹に対する免疫力をあらかじめ獲得しておくことです。

種後に長期間麻疹患者と接触がない場合は、予防接種で獲得した免疫が減り、感染してしまいます。

今年はこの数年にない勢いで麻疹患者が増えています。多くは予防接種を受けていない0歳～1歳の乳幼児と、接種歴が0～1回の20～30歳代です。麻疹の場合、予防接種後30～36カ月で免疫力は半減しますので、接

麻疹にかかったことがない、または、かかったか不明で、1歳以上での予防接種歴がない人や、小学生以上で接種歴が1回のみの方は、定期接種の対象(1期Ⅱ1～2歳、2期Ⅱ小学校入学前の1年間)でなくても積極的に予防接種を受けてください。特に感染したり、感染させたりするリスクが高い医療従事者や学校・福祉関係の従事者、海外旅行を予定されている人は「自分は大丈夫」ではなく、予防接種をお勧めします。

吹田市医師会

立花

賢治